

総合研究大学院大学 統合進化科学研究センター

学術講演会

2025 **11/3** **mon.**
(holiday) 開 場 13:00
講 演 13:30~15:00

会 場：総合研究大学院大学 葉山キャンパス 共通棟2階講堂
神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）

定 員：会場60名、オンライン配信100名（先着順）

参加費無料
（要事前登録）

申込期限:10月28日(火)

お申込み <https://forms.office.com/r/F9uTDj3egW>



日本はなぜ原発を 取り入れたのか

— 嵯峨根遼吉の原発導入論

総合研究大学院大学 統合進化科学研究センター

助教 **猪鼻 真裕**

福島第一原子力発電所の事故を経験したわたしたちにとって、
原発とのつき合い方はより複雑なものとなりました。その是非をめぐっては、人それぞれに様々な思いがあるでしょう。
ところで、そもそも日本には、どのようにして原発が導入されたのでしょうか？この講演では現在からはいったん離れて、
過去にどうして原発が日本に導入されたのかについて話したいと思います。特に、嵯峨根遼吉という物理学者を取り上げて、
彼の原発導入論を紹介します。

画像提供：日本原子力研究開発機構

母の目が離れた世界

— 野生ニホンザル乳児の成長記録

総合研究大学院大学 統合進化科学研究センター

特別研究員 **Lee Boyun**

子どもたちは、親の目が届かない瞬間にも、すくすく成長していきます。ひとりで道に迷ったり、他の人と時間を過ごしたり、親が知らないうちに何かを成し遂げたりします。屋久島に暮らすニホンザル（ヤクシマザル）の乳児もそうです。本講演では、母親のそばを離れたとき、彼らの目にはどんな景色が映るのか、そして、小さく弱々しく見えるその存在が、どれほどたくましく育つのか、ヤクシマザルの乳児たちの暮らしをのぞき見た経験をお届けします。

● アクセス

JR 逗子駅、京浜急行 逗子・葉山駅

京急バス①番乗り場より逗16・逗26系統「湘南国際村センター前」
行き、「湘南国際村センター前」下車

※自家用車での来学も可能です。ただし、大学の駐車場には限りがありますので、満車の場合は近隣の無料駐車場をご利用ください。

京浜急行 汐入駅

京急バス②番乗り場より汐16系統「湘南国際村センター前」行き、
「湘南国際村センター前」下車

お問い合わせ

総合研究大学院大学 統合進化科学研究センター事務係

TEL.046-858-1577 e-mail: hayamajimu@ml.soken.ac.jp

主 催 国立大学法人 総合研究大学院大学 統合進化科学研究センター
後 援 葉山町

S O K E N D A I

